

経営比較分析表／団体全体（令和3年度決算）

鳥取県 鳥取市

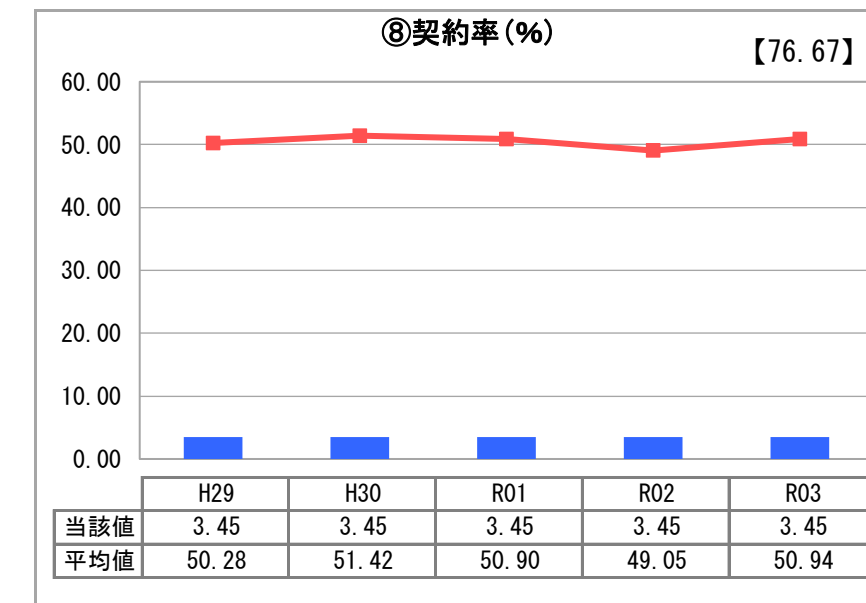
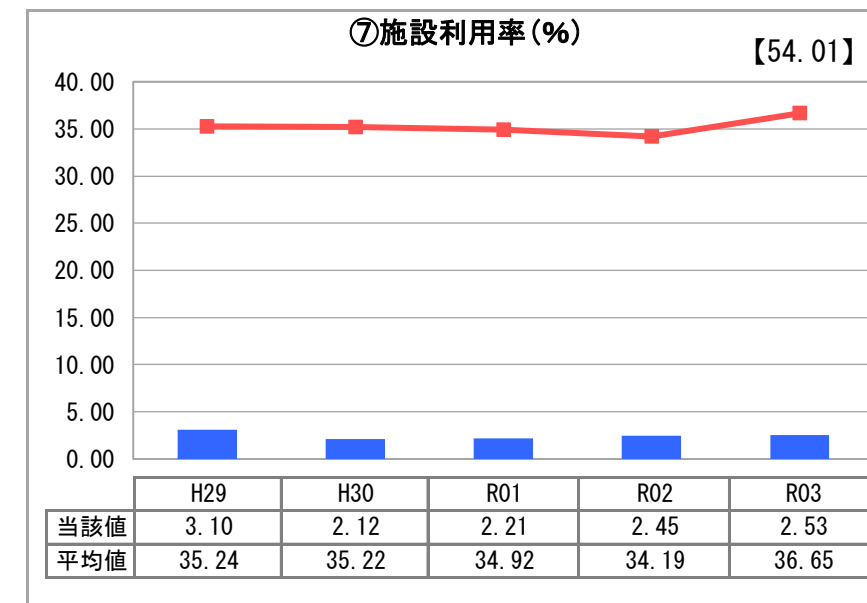
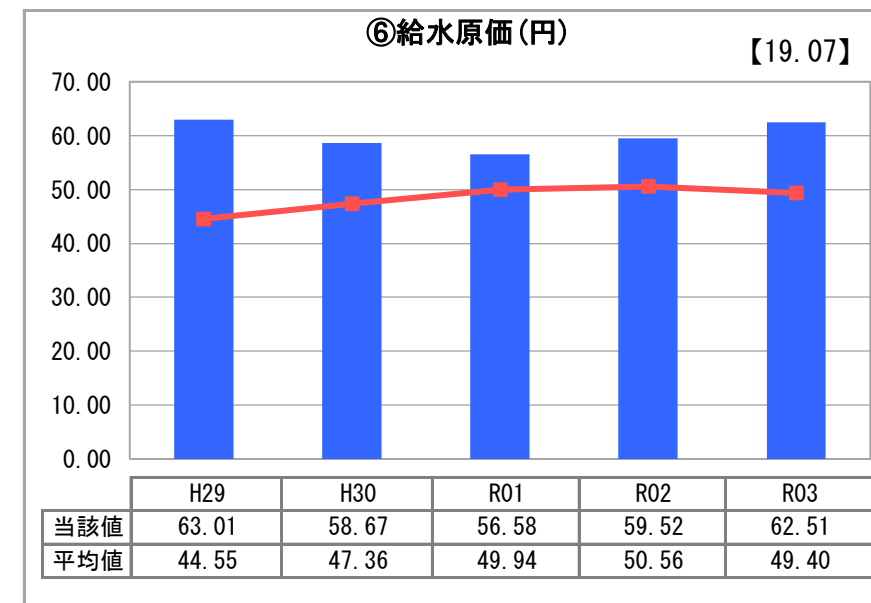
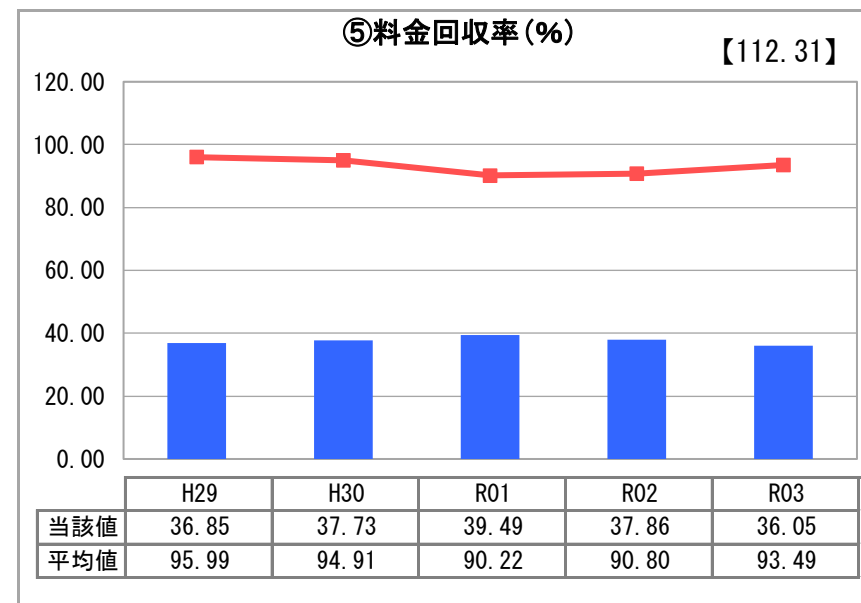
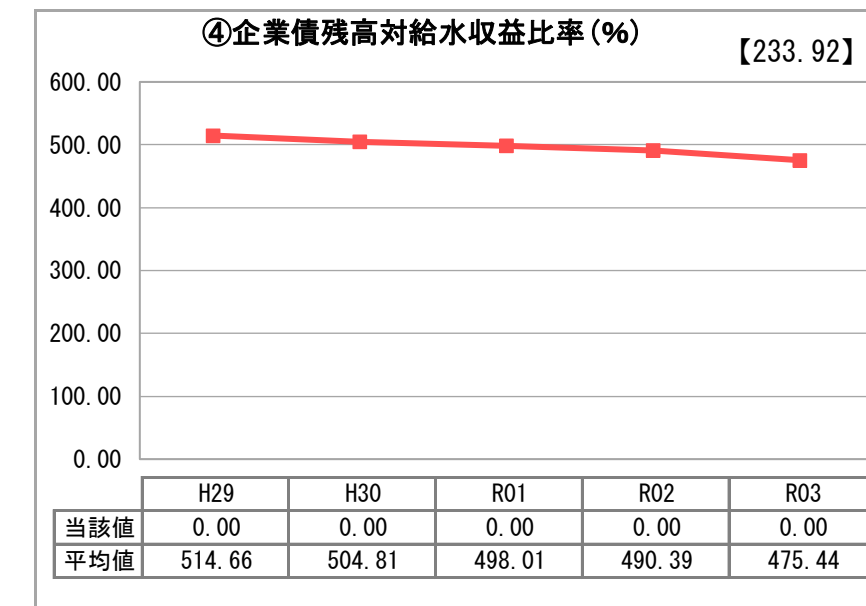
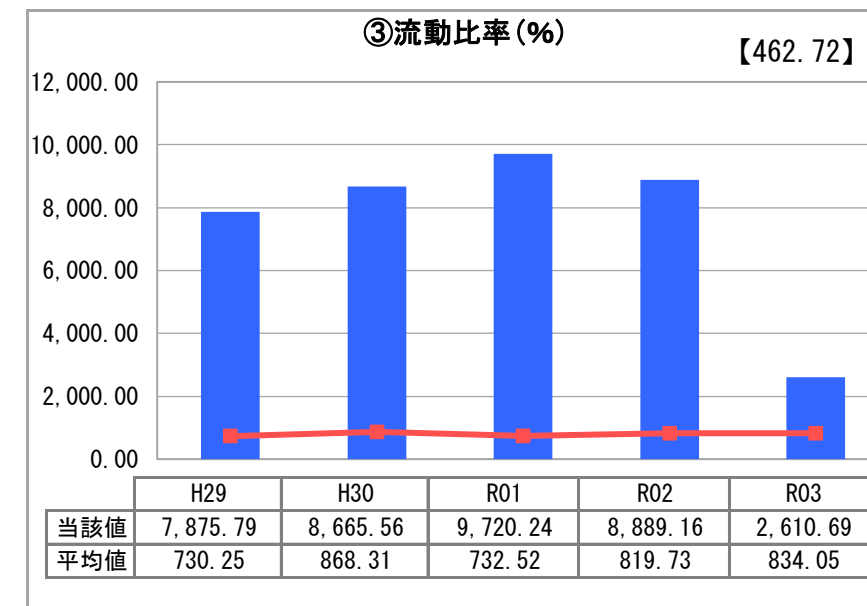
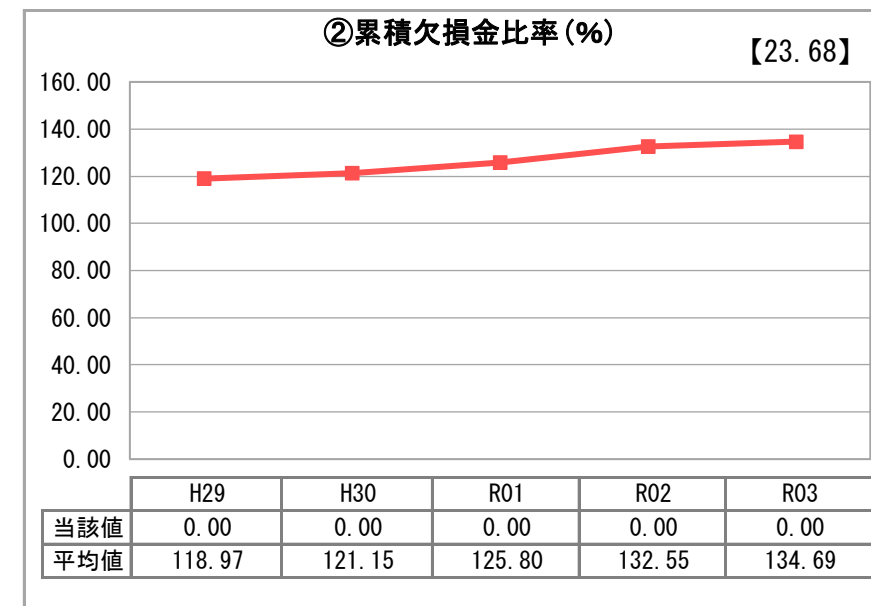
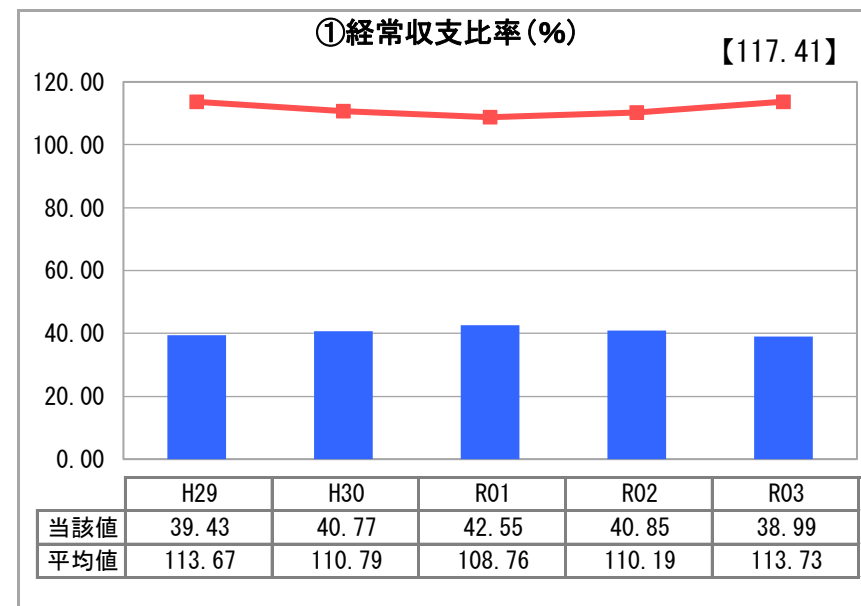
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m ³ /日) 5,800	類似団体区分 極小規模	施設数 1	1日平均配水量(m ³) 147
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 99.5	給水先事業所数 1	契約水量(m ³ /日) 200	管理者の情報 自治体職員	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

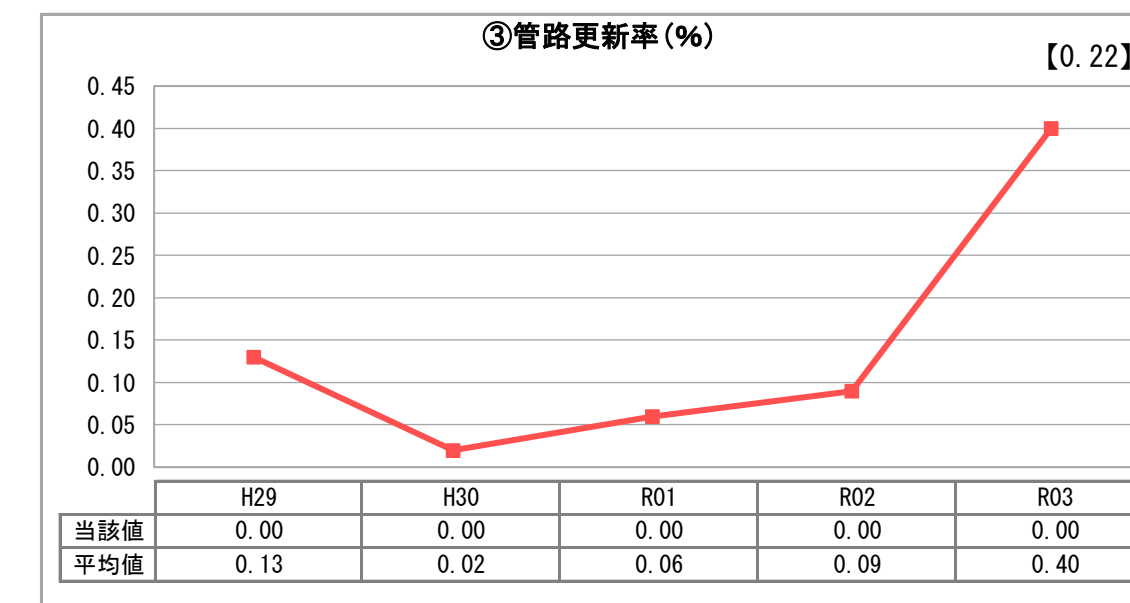
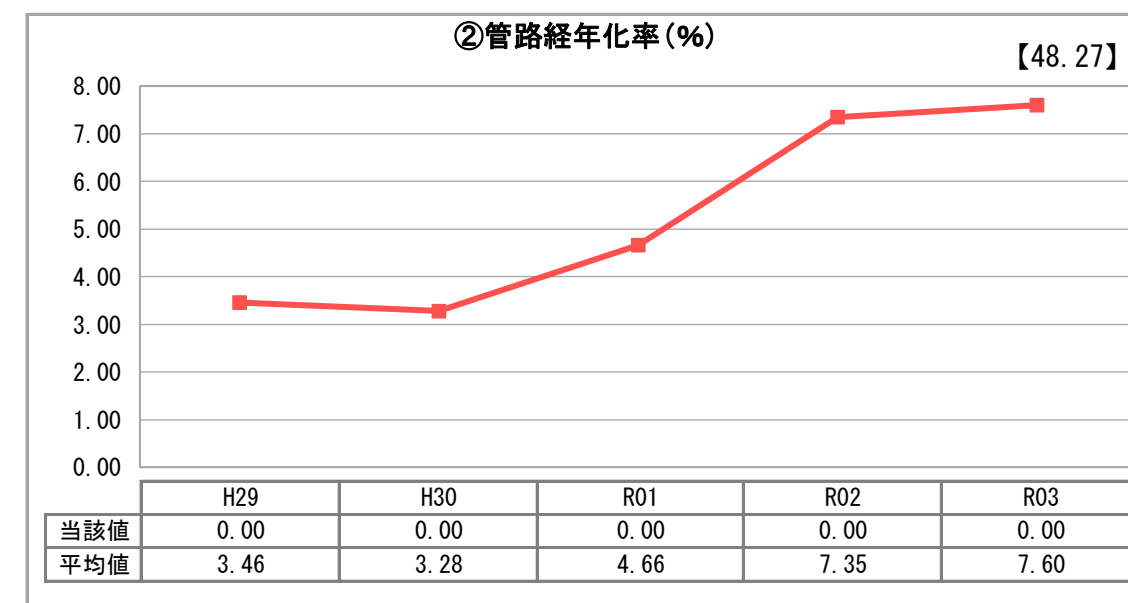
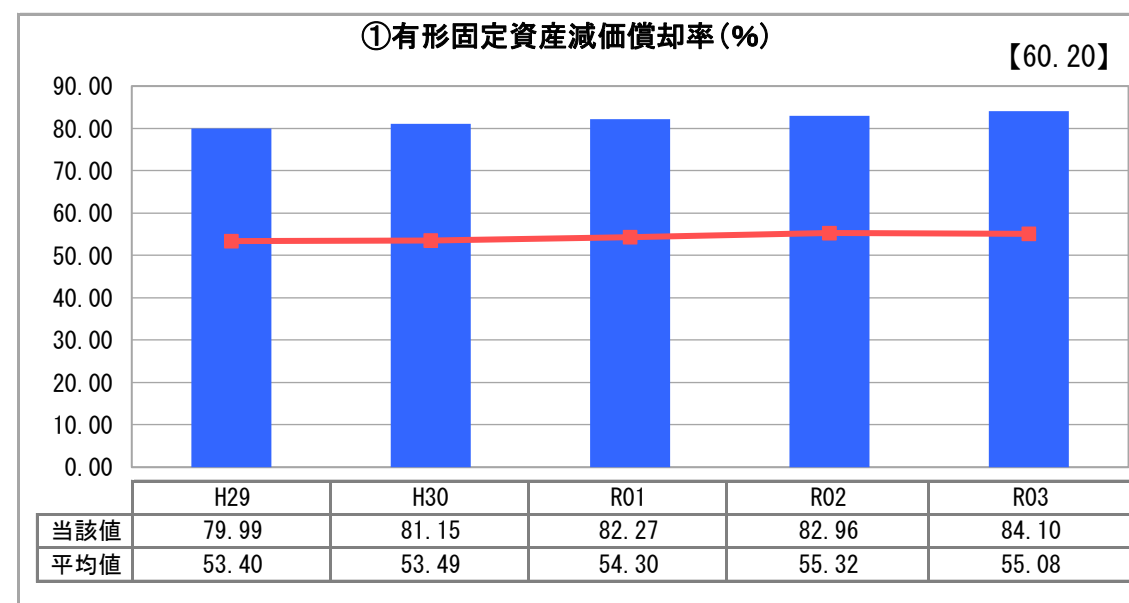
1. 経営の健全性・効率性について

平成25年10月以降、給水先事業所数が1社となり、施設能力5,800m³/日に対して、契約水量は200m³/日にとどまっている。
また、給水収益の減少に伴い、経常収支比率及び料金回収率は40%前後を推移しており、非常に厳しい経営状況である。

2. 老朽化の状況について

施設の老朽化がかなり進んでいる状況ではあるが、事業の廃止までの間、定期点検を重視の上、修繕などを行うことで長寿命化に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後の水需要予測、料金収入や施設の更新費用などを検討した結果、将来にわたって事業を継続することは困難であるため、令和12年度をもって事業を廃止し、令和13年度以降の水道の供給については、水道事業へ移行する方針である。